



準用河川大田川の災害復旧について

1 概要

令和4年（2022年）7月12日の豪雨により、準用河川大田川で護岸崩落等の災害が発生し、応急対応の工事は実施済ですが、災害復旧工事（準用河川大田川南平井工区その1）について、本日から護岸に近接する建物等の事前調査を行い、その後、本格的な復旧工事に着手することとなりましたのでお知らせします。

詳細な内容については、別添資料のとおりです。

2 予算措置

令和4年一般会計補正予算（第5号）で対応

（詳細については、別紙-1の記者会見資料（8月16日付）を参照）

3 請負契約内容

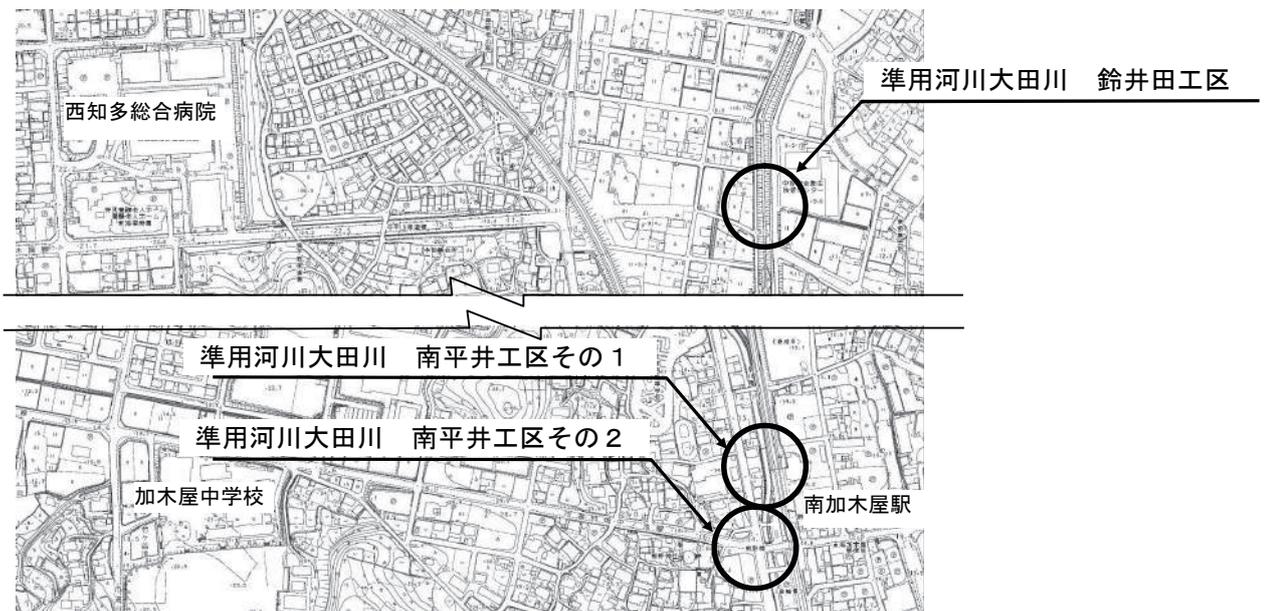
契約金額：金628,503,700円（税込）

契約の相手方：矢作建設工業株式会社

（詳細については、別紙-2の記者会見資料（8月22日付）を参照）

4 その他

災害復旧工事（準用河川大田川 南平井工区その2）及び災害復旧工事（準用河川大田川 鈴井田工区）については、国による災害査定後に工事着手する予定です。



問合せ	都市建設部土木課 担当：花井（はない）、菊池（きくち） 052-603-2211、0562-33-1111（内線421、413）
-----	--



準用河川大田川の災害復旧

1 概要

令和4年(2022年)7月12日の豪雨により、準用河川大田川で護岸崩落等の災害が発生したため、災害復旧工事を2年間で実施します。

また、今後の豪雨や台風に備えること及び名古屋鉄道南加木屋駅に近接した場所でもあり、鉄道利用者への影響を考慮し、早期の対応が必要であることから、令和4年(2022年)8月16日付けで令和4年度一般会計補正予算(第5号)を専決処分し、対応するものです。

2 事業内容

事業名 準用河川大田川災害復旧事業

(1) 災害復旧工事(準用河川大田川 南平井工区その1)

工事延長: L=28.7m(土留矢板工、仮栈橋工、撤去工、護岸工等)

(2) 災害復旧工事(準用河川大田川 南平井工区その2)

工事延長: L=7.4m(ブロック積擁壁工等)

3 補正予算額

事業名 準用河川大田川災害復旧事業 539,340千円(①+②)

(財源は、財政調基金繰入金 539,340千円)

(1) 災害復旧工事(準用河川大田川 南平井工区その1)

[継続費(2年間)] 令和4年度(2022年度) 527,000千円(①)

令和5年度(2023年度) 156,920千円

合計 683,920千円

(2) 災害復旧工事(準用河川大田川 南平井工区その2)

令和4年度(2022年度) 12,340千円(②)

4 その他

詳細については、8月30日開催予定の定例記者会見でご説明します。

問合せ

都市建設部土木課

担当: 花井(はない)、菊池(きくち)

052-603-2211、0562-33-1111(内線421、413)



準用河川大田川の災害復旧工事に着手します

1 概要

令和4年(2022年)7月12日の豪雨により、護岸崩落等の災害が発生した準用河川大田川の災害復旧工事について、早期の復旧を図るため、令和4年(2022年)8月22日に請負契約の専決処分を行い、工事に着手することになりましたのでお知らせします。

2 請負契約の内容

- ・工事名：災害復旧工事(準用河川大田川 南平井工区その1)
- ・工事場所：東海市加木屋町南平井始め2地内(名鉄南加木屋駅付近)
- ・工期：令和4年(2022年)8月23日から
令和5年(2023年)6月30日まで
- ・契約金額：金628,503,700円(税込)
- ・契約の相手方：名古屋市東区葵三丁目19番7号
矢作建設工業株式会社

3 その他

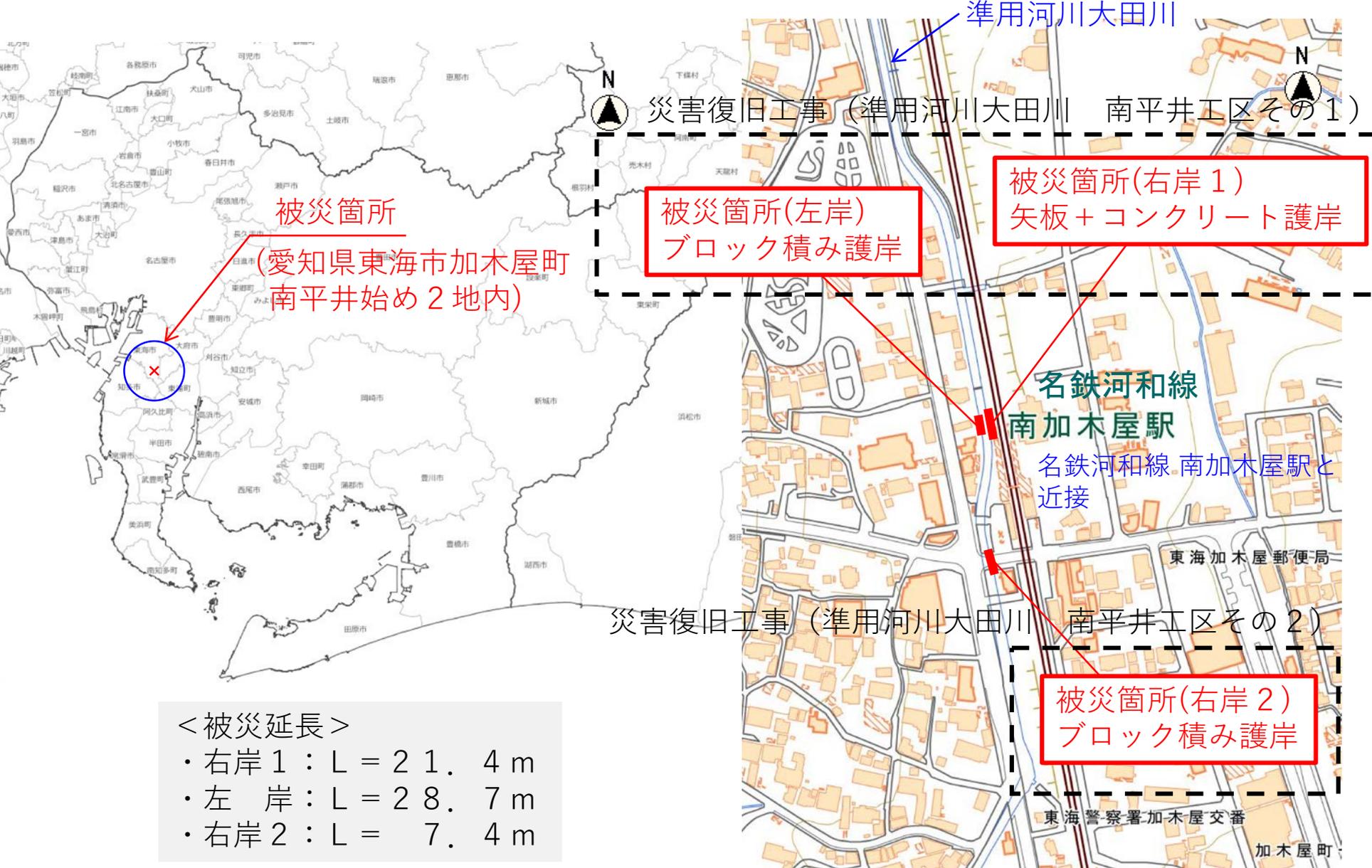
本内容については、8月16日付けで記者発表しました令和4年一般会計補正予算(第5号)に計上したものです。

問合せ	都市建設部土木課 担当：花井(はない)、菊池(きくち) 052-603-2211、0562-33-1111(内線421、413)
-----	--

準用河川大田川の 災害復旧について

説明資料

1. 被災箇所



2. 準用河川大田川

【河川の概要】

水系名：二級河川大田川

区 間：上流端

(左岸) 加木屋町柿畑 9 0 番 1 地先

(右岸) 加木屋町寺ノ前 3 3 番 4 地先

(天王橋上流端)

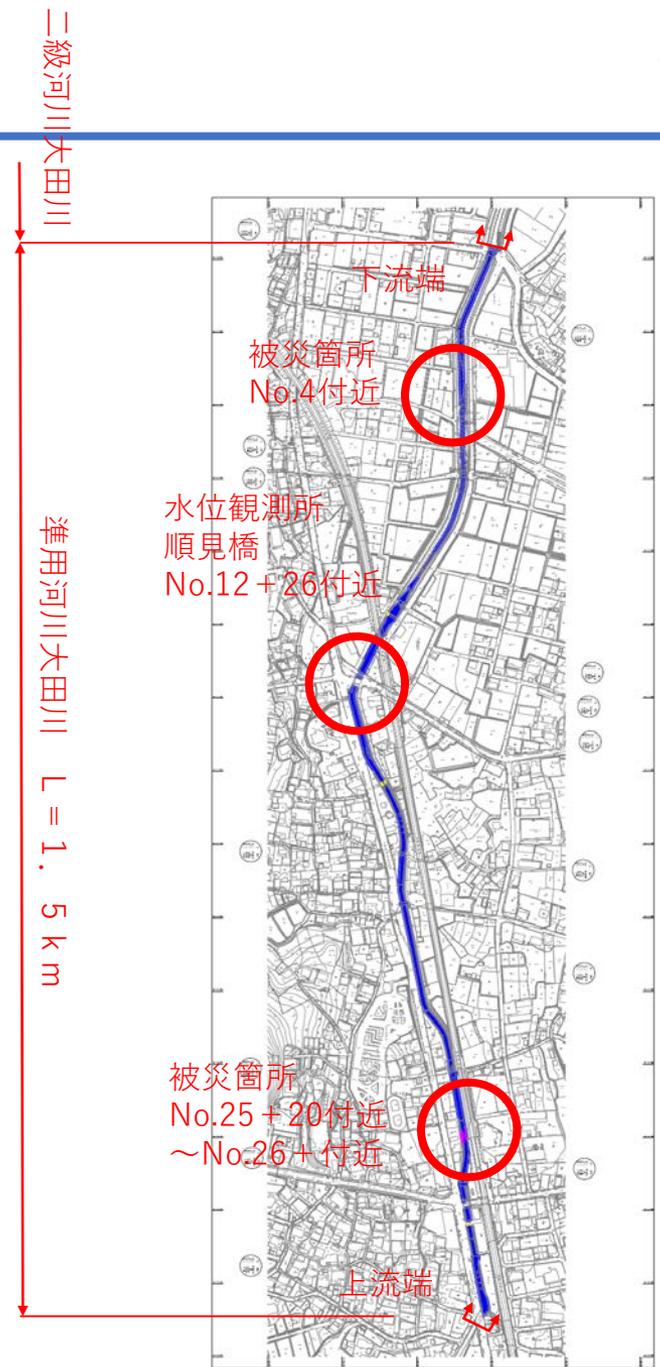
下流端：二級河川大田川上流端

(栄橋下流端)

延 長：L = 1. 5 k m

指定年月日：昭和 4 9 年 7 月 2 3 日

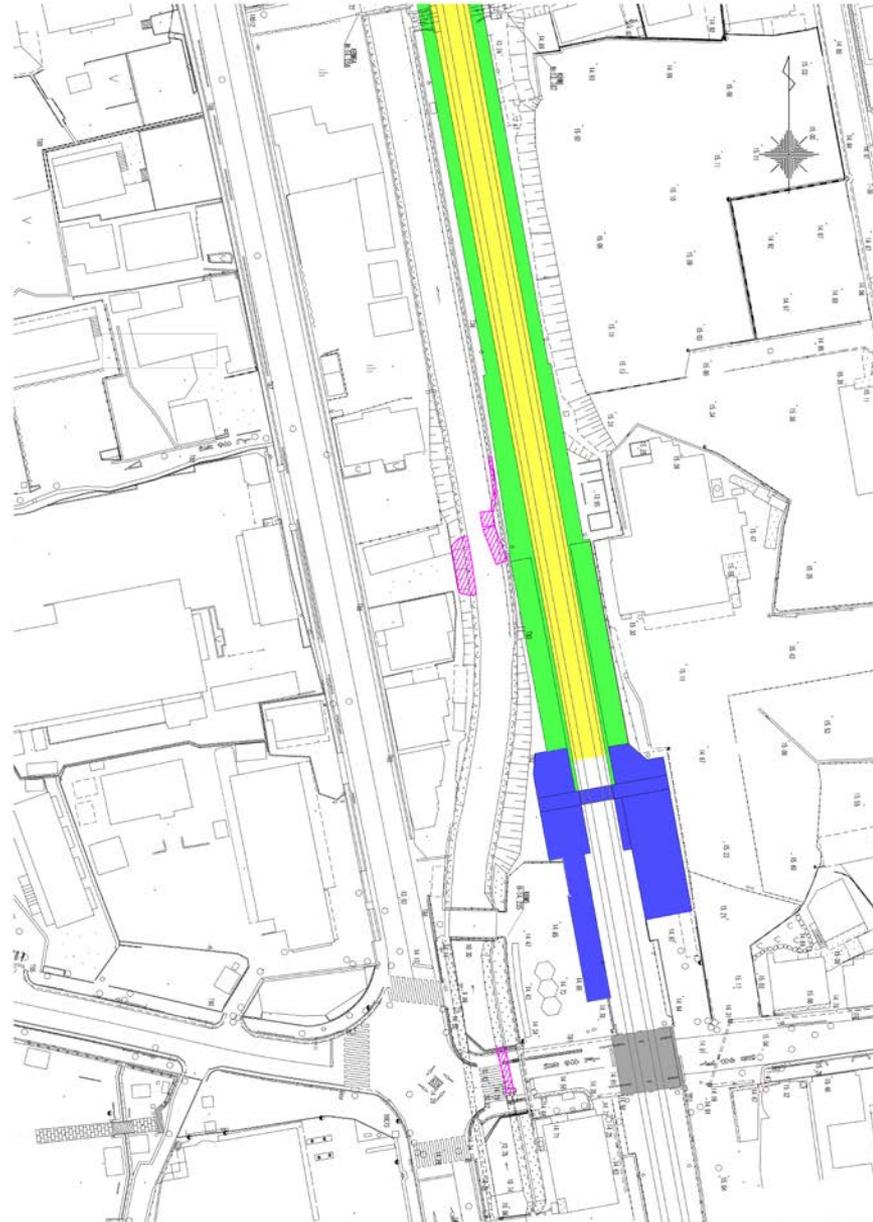
整備状況：未整備



3. 名鉄河和線と南加木屋駅

凡例

-  : 被災箇所
-  : 駅舎
-  : 駅ホーム
-  : 電車停車位置
-  : 踏切



【右岸1】



背面水圧の影響により、コンクリート擁壁が擁壁継ぎ目を境に崩壊した。

4. 被災状況

(南平井工区その1 左岸)

【左岸】



【水位観測所での降雨量及び河川水位】

< 観測所 >

名称：順見橋水位観測所

位置：No.12+26付近

※被災箇所から約650m下流側

< 降雨量 >

- 最大24時間雨量：167mm/d
- 最大時間雨量：49.5mm/h

< 河川水位 >

- 平水位：TP+7.27m
- 最大水位：TP+9.11m
- 水位上昇：1.84m

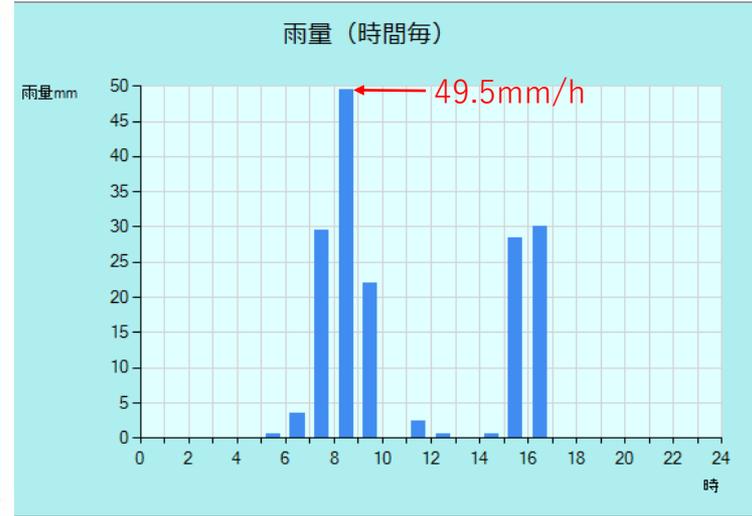


東海市の雨量 観測値

2022年7月12日 0:00分単位 1時間単位

【1時間単位表示】

観測日	2022年7月12日			
観測時刻	単位雨量 (mm)	累計雨量 (mm)	単位雨量 (mm)	累計雨量 (mm)
0時～1時	0.0	0.0	0.0	0.0
1時～2時	0.0	0.0	0.0	0.0
2時～3時	0.0	0.0	0.0	0.0
3時～4時	0.0	0.0	0.0	0.0
4時～5時	0.0	0.0	0.0	0.0
5時～6時	3.0	3.0	0.5	0.5
6時～7時	3.0	6.0	3.5	4.0
7時～8時	10.5	16.5	24.5	33.5
8時～9時	9.0	25.5	49.5	53.0
9時～10時	0.5	26.0	22.0	105.0
10時～11時	0.0	0.0	0.0	0.0
11時～12時	0.0	0.0	2.5	2.5
12時～13時	0.0	0.0	0.5	3.0
13時～14時	0.0	0.0	0.0	0.0
14時～15時	1.5	1.5	0.5	0.5
15時～16時	6.0	7.5	25.5	29.0
16時～17時	0.0	0.0	30.0	59.0
17時～18時	0.0	0.0	0.0	0.0
18時～19時	0.0	0.0	0.0	0.0
19時～20時	0.0	0.0	0.0	0.0
20時～21時	0.0	0.0	0.0	0.0
21時～22時	0.0	0.0	0.0	0.0
22時～23時	0.0	0.0	0.0	0.0
23時～24時	0.0	0.0	0.0	0.0
計	1.4	—	7.0	—
合計	33.5	—	167.0	—



東海市の水位 一覧

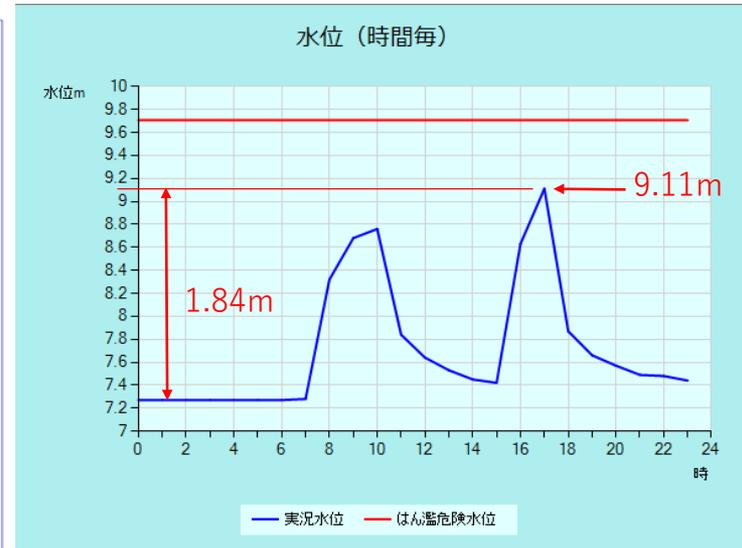
観測の水位 (青色のラインが水位を示します)

2022/7/26 20:20

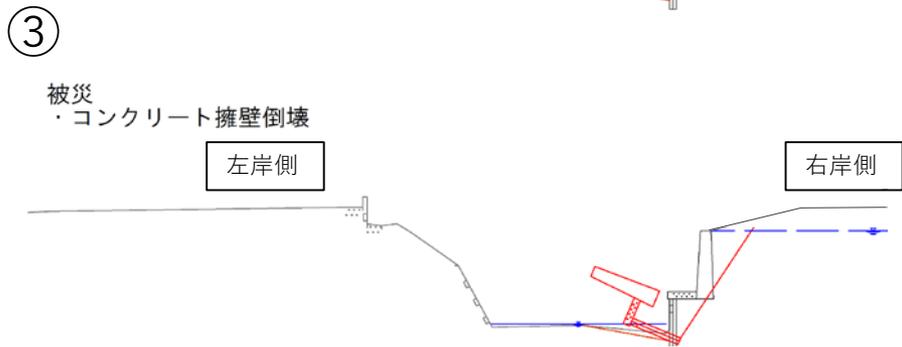
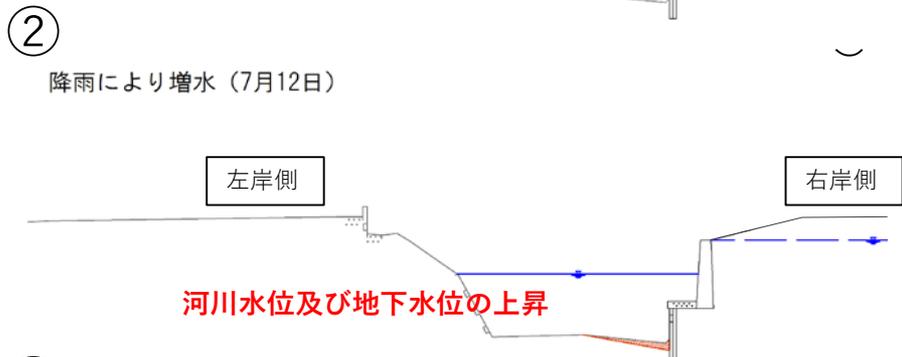
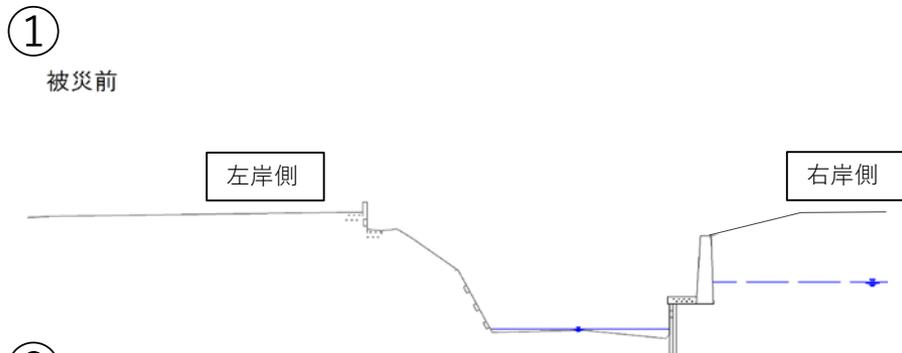
観測所	平水位	最大水位	観測値	はん濫危険水位
はん濫危険水位 (m、河床の直上のポイント)	3.301	3.621	9.705	5.356

【1時間単位表示】

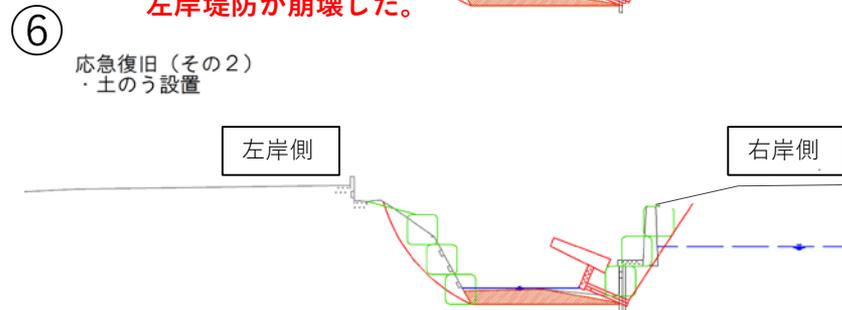
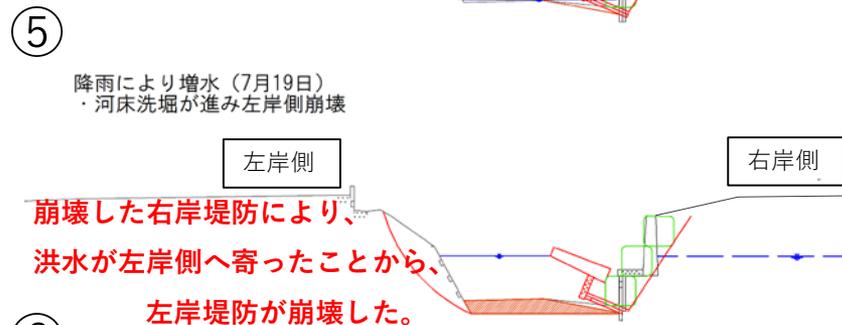
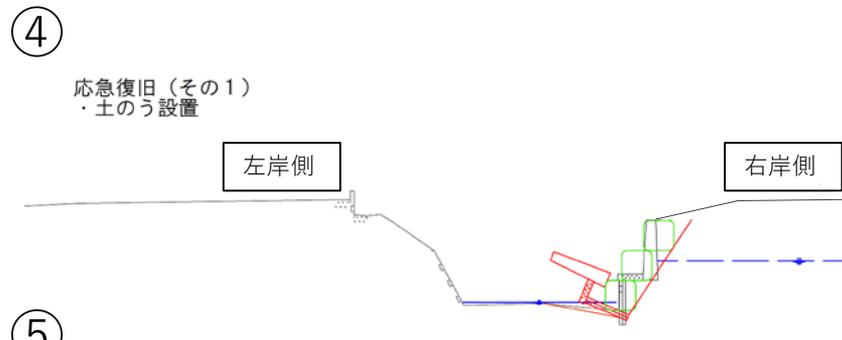
観測日	2022年7月12日			
観測時刻	水位 (m)	水位 (m)	水位 (m)	水位 (m)
0時	0.66	0.64	7.27	3.76
1時	0.66	0.64	7.27	3.76
2時	0.76	0.68	7.27	3.76
3時	0.87	0.77	7.27	3.76
4時	0.92	0.95	7.27	3.76
5時	0.76	0.74	7.27	3.76
6時	0.66	0.60	7.27	3.76
7時	0.73	0.80	7.38	3.80
8時	0.90	1.40	8.32	4.00
9時	0.66	1.42	8.63	3.80
10時	0.74	1.70	8.76	3.81
11時	0.71	1.14	7.84	3.76
12時	0.70	0.89	7.84	3.76
13時	0.68	0.87	7.83	3.76
14時	0.70	0.81	7.48	3.76
15時	0.70	0.78	7.42	3.76
16時	0.62	1.76	8.63	3.80
17時	1.09	1.61	9.11	3.76
18時	1.19	1.19	7.87	3.76
19時	0.97	0.68	7.66	3.76
20時	0.68	0.82	7.57	3.76
21時	0.68	0.77	7.49	3.76
22時	0.68	0.76	7.48	3.76
23時	0.67	0.74	7.44	3.76



5. 被災原因

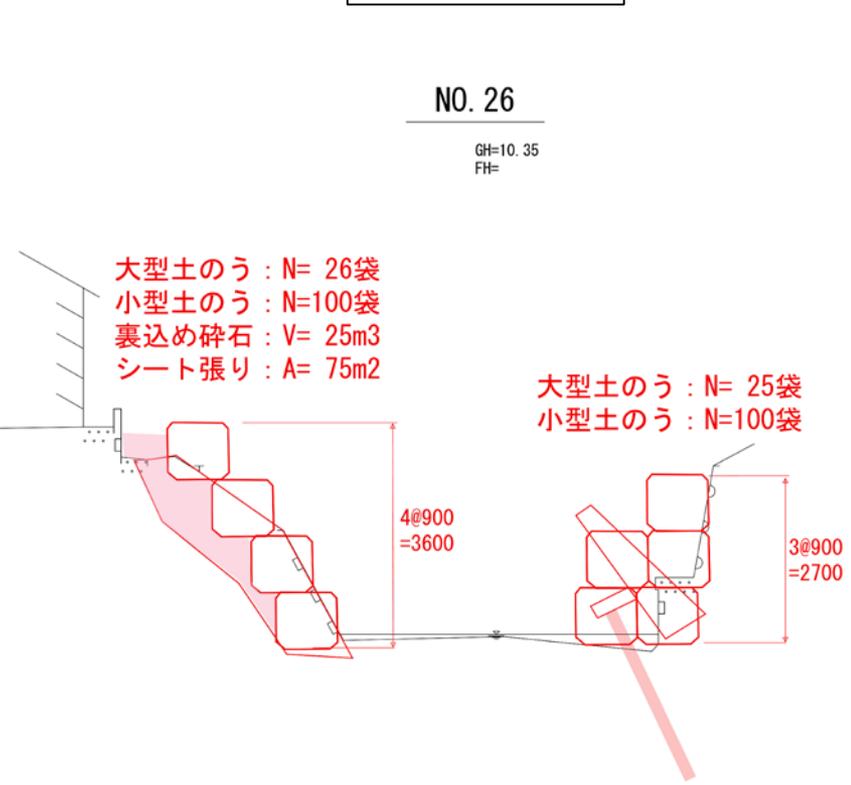


河川水位の急激に低下したが、地下水位は高い状態のままとなり、
残留水圧（受動土圧）により、右岸堤防が崩壊した。



仮復旧 平面図

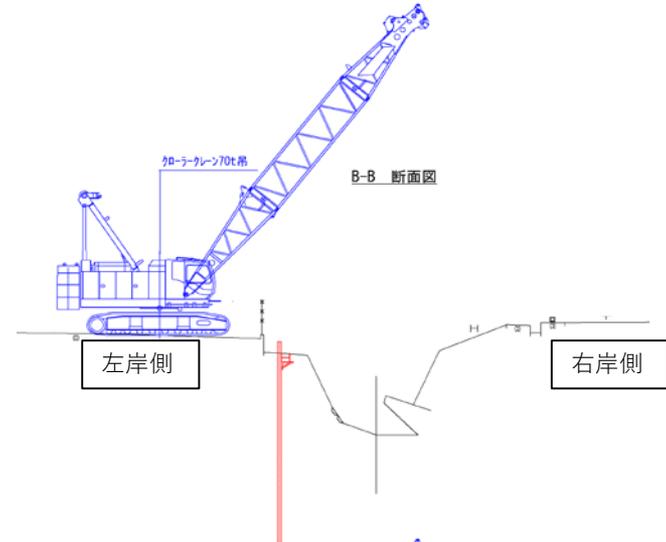
仮復旧 断面図



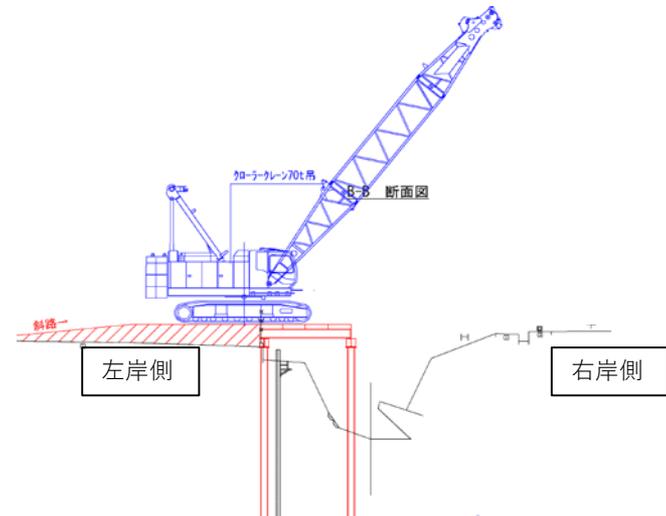
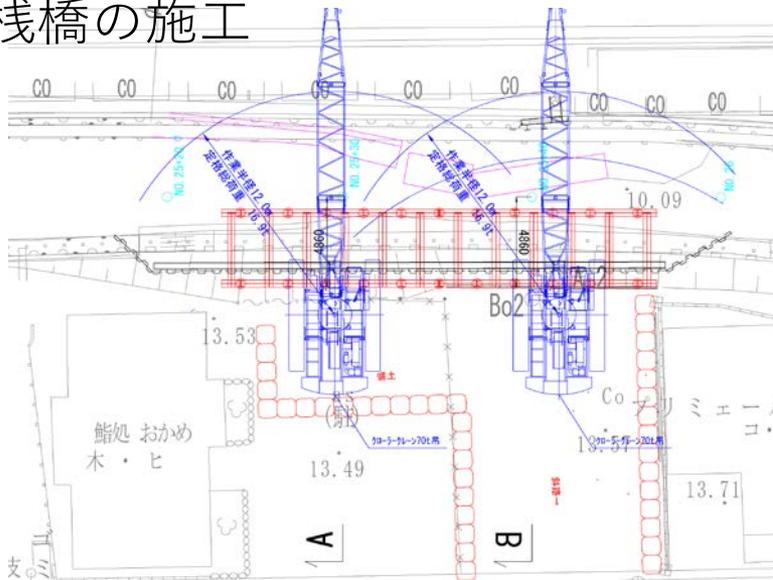
右岸：護岸及び河道保護のため、土のうを設置
 左岸：護岸保護のため、土のうを設置

7. 応急本工事（施工手順）

① 土留鋼矢板打設（左岸）

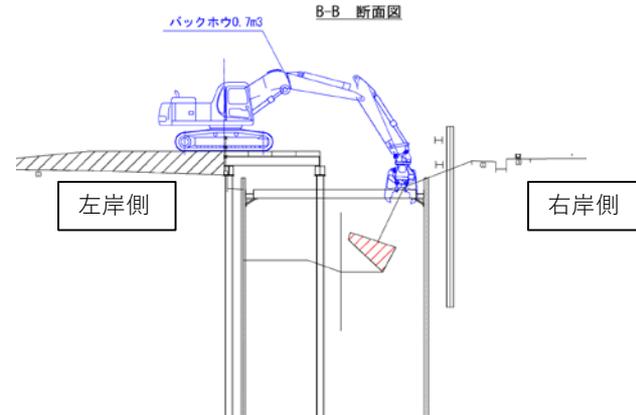
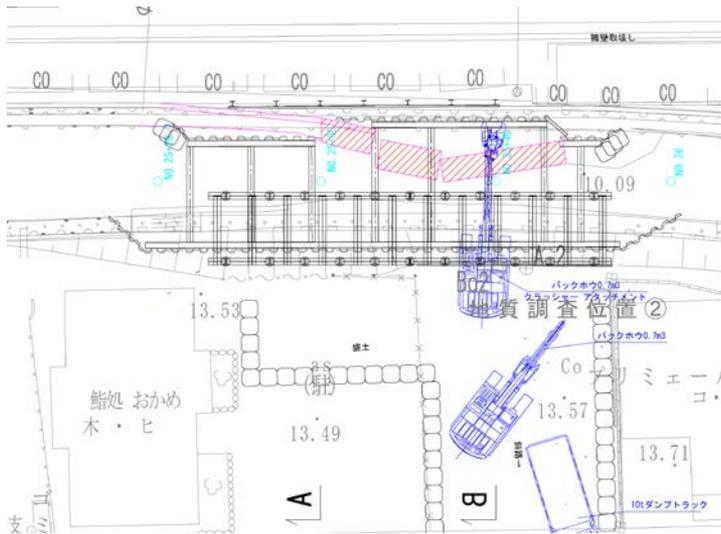


② 仮栈橋の施工

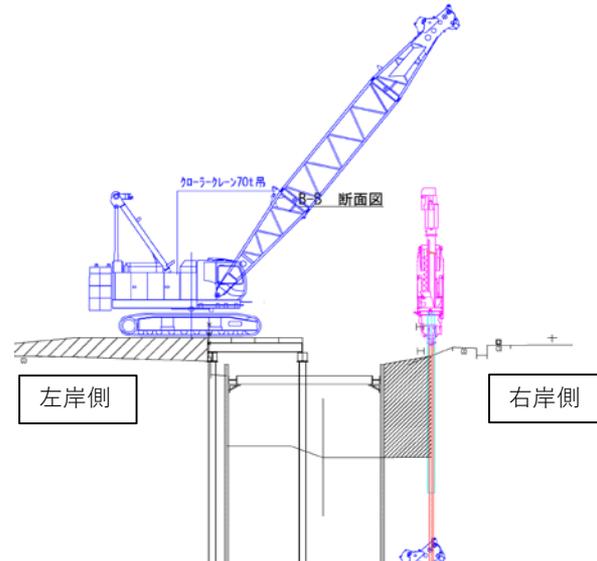


7. 応急本工事（施工手順）

③ 右岸擁壁及び土砂撤去

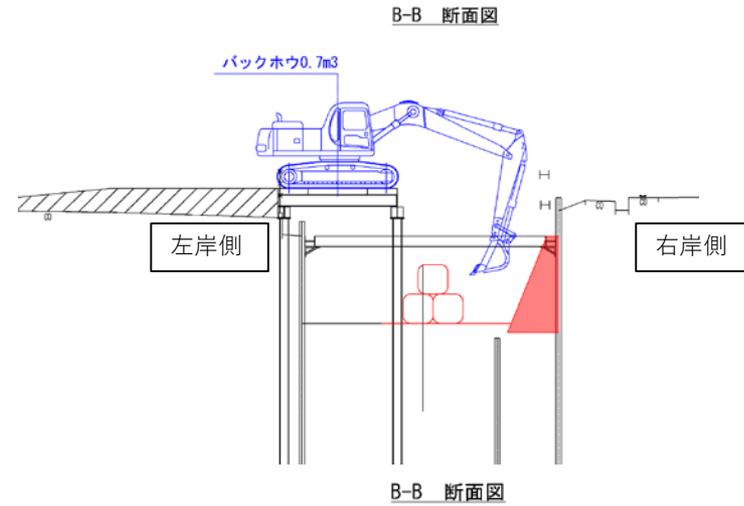
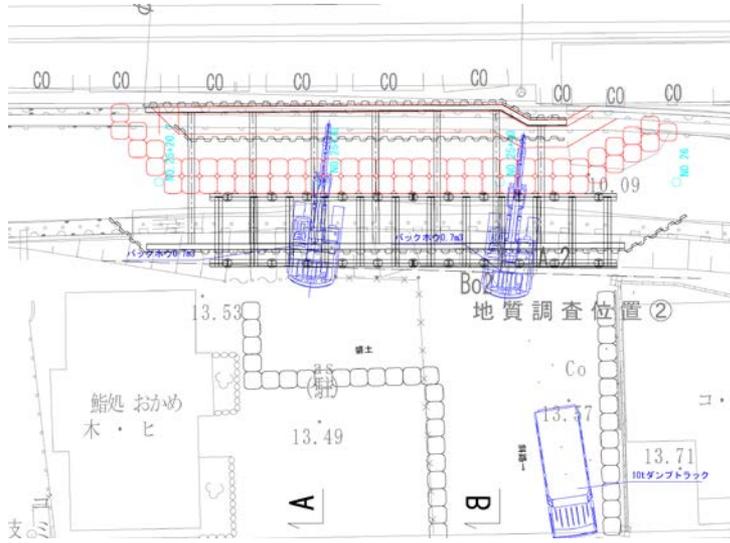


④ 土留鋼矢板打設（右岸）

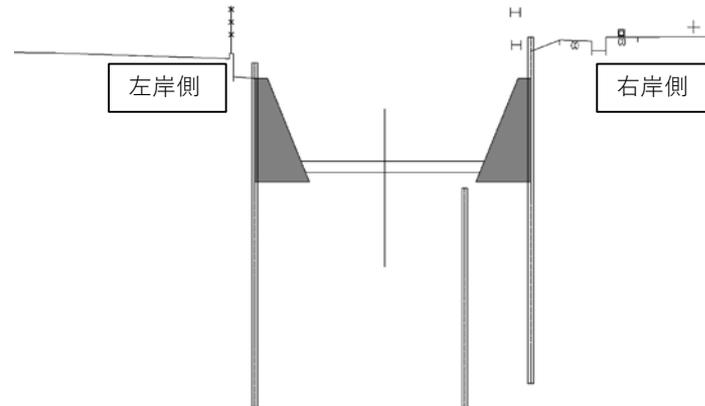
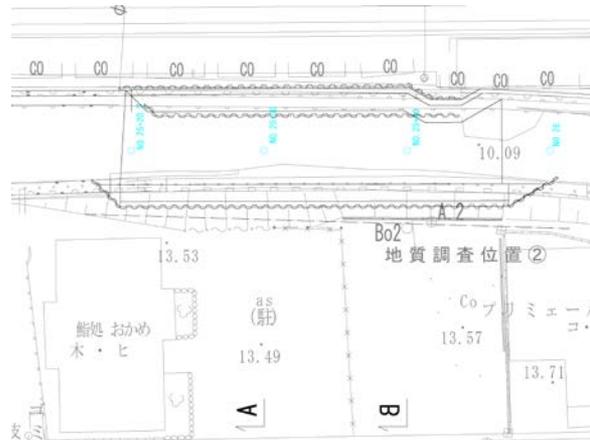


7. 応急本工事（施工手順）

⑤ 擁壁工（右岸及び左岸）



⑥ 完成（※詳細内容は、現在検討中）



【右岸2】



起点



【左岸】

